

講演会レポート

絵本作家のぶみ先生 おはなしと読み聞かせ

2016年11月11日（金）／参加者 88名

「今週の情熱大陸を見てください！」の大きな声で始まり、会場は一瞬にして朗らかな雰囲気につつまれ、おとな向けに8冊、子ども向けに4冊のたっぷりな読み聞かせを交えながら、笑いあり涙ありのとても充実した講演会でした。

教会で生まれ育った先生のお話は、野毛山幼稚園に通う私たちにとって共感できることもたくさんあり、そして気づきをいただく機会にもなりました。

『ママのスマホになりたい』の読み聞かせが始まると子どもらしい声、通る大きな声に吸い込まれながら子どものやってみたこと、発見、成長をスマホを見ているということで見逃してしまうという現代ならではのストーリーにとっても考えさせられました。

子どもたちと一緒に聞いた読み聞かせでは途中、風船割りや絵本に向かって一緒に大声を出したりジャンプしたりなどみんな本当に楽しんでおり、

あやめさん「とってもおもしろかった」

つくしさん「このあとはどうなっちゃうの？」

もみじさん「あのこ、すごくえらいね」

など、それぞれの成長を感じられる声もたくさん聞こえました。

また、読み聞かせの最中、時折涙を浮かべながら絵本を読まれている先生の姿はとても印象的でした。そして、このような講演会は未就園児の兄弟を連れての参加は敷居が高いものですが、先生は「僕の講演会では小さい子は前に来ちゃってもいいし、走り回っても騒いでもいいよ。」のお言葉。親として安心できる嬉しい場面でもありました。

終盤、『いのちのはな』の絵本の中には色々大変なことがたくさんあり、それでも乗り越えようとしたチューリップのプーが描かれており「皆に届け！！」という先生の強い思いが感じられました。

先生は絵本の他に聖書のお話にも触れ、一番好きなのはヨハネによる福音書13章34節「互いに愛し合いなさい」だそうです。愛することは簡単ですが、人から愛されることはとても難しいです。だから人と会う前に「自分から優しくできますように」といつも心がけているそうです。愛するより、愛された時の受け取り方もとても大事で、「うわあ！！嬉しい！！ありがとう！！」と言えるようにと。

祈ることは本当に大切なのだと先生にも教えていただき、身近な聖書の中からのこのお言葉にあらためて感謝いたしました。

講演会終了後も一人一人の本にサインと似顔絵を描いていただき、終わるころには先生の手はマジックで真っ黒だったようです。

本当にありがとうございました。



文責

岩瀬菜穂美 阿部 倫子 佐々木 嘉子
関 美佳 田中 貴子 納谷 多恵 横山 礼

《 読み聞かせ絵本紹介 》



『ママのスマホになりたい』

ママ、もっと ボクのこと見て! 世界中が感動した、シンガポールの小学生の作文『スマホになりたい』を元に、人気絵本作家・のぶみが描く、全国のママに読んで欲しい一冊!



『サンタパスポート』

せかいじゅうのこどもたちは、いいことをたくさんはじめました。そしてクリスマスイブのよるになると…。ベストセラー絵本作家のぶみが描く、新しいクリスマスの物語。



『しかけのない しかけえほん』

今までなかった! 新発想絵本の登場! とにかく楽しい!
親子がもっと仲良くなる! いろんなしかけ遊びがいっぱい!



『ママがおばけになっちゃった』

『さよならママがおばけになっちゃった』

ママはくるまにぶつかって、おばけになりました。
とつぜん、〃おばけ〃になってしまったママ。よる、12時をすぎると、かんたろうの部屋に現れて……。



『うんこちゃん』

『うんこちゃん ようちえんへいく』

うんこが突然しゃべりだした! 「友達になって」。
「くさいよ!」と鼻をつまみながらも少しずつうんこちゃんに心を開いていきますが…



『ぼく、仮面ライダーになる! エグゼイド編』

ゲームしてばかりのかんたろうと、ワガママばかりのあんちゃんにイライラが限界に達したママ。なんと、家出をしてしまいます。
困ったかんたろうとあんちゃん、ママがいなくなって初めて、ママの気持ちに気が付きます。兄妹が助け合うのを見守って、ママが家に帰ろうとしたとき、敵が現れて! 勇気をだして、変身だ!



『いのちのはな』

「あきらめない心」を育てる魔法の絵本!
おかあさんからチューリップの球根をもらったかんたろう。ところが次の日からなんと病気に! 水がもらえないプーは花を咲かせることができるのでしょうか? のぶみ自身の人生とすべての思いが詰まった渾身の一冊!

講演会に参加された方から…

もみじ赤 黒澤 聡子

「のぶみ先生って、こんなに面白いお方だったとは！」と驚きの1日でした。笑いあり、涙あり、次は何が起こるのだろうとドキドキの講演会。なかなかお会いすることの出来ない先生との貴重な時間を過ごせました。このような機会をどうもありがとうございました。

もみじ白 高橋 佳奈

暴走族の総長だったというのぶみ先生。実際はどんな方なのだろうと楽しみにしていました。当日は何冊も絵本の読み聞かせをして下さり、ふと見るとのぶみ先生の目には涙が…。それほどまでに先生ご自身の思いが詰まった絵本なのだ実感できる素敵な時間を過ごせました。

もみじ赤 あやめ赤 則久 直子

2週間程前、ふと本屋で手にとった「ママがおばけになっちゃった！」は試しに中をパラパラ見ていると、目頭が熱くなり、驚いて急いで本を戻して帰りました。そして日もあかないうちに、園子先生に勧めていただいた「うんこちゃんようちえんへいく」を読ませてもらいました。とても面白く、ユーモアの中に大切なことが分かりやすく織り込めてあるようで親子でこの本楽しいね♪と話していました。実際にお会いでき、目頭の熱くなった本を読まれていた時は、人前で泣くのは苦手でしたが涙が止まらず困ってしまいました。子どもたちも楽しい読み聞かせだったようで、家でも「読んで読んで！」と言っています。指をさしながら読むのは下の子のためにしていたのですが、良いことなのだと思います。これからはいつもすることになりました。土日に私が風邪で寝込んでしまった際に、姉がたどたどしくも弟に読んであげ、いつもなら「よく分からないからイヤ！」と言う弟も必死に聞いており、またしても目頭が熱くなりました。いつのまにか成長していたのだと思うと、毎日大切に感謝して生きねばと思いました。日々、子どもたちを見守り導き、親にもそっと良い気づきを下さる先生方、素敵な思いのこもった絵本を送り出してくださるのぶみ先生、準備下さった役員の皆様、本当に良い時をありがとうございました。

もみじ赤 伴 慶子

のぶみ先生のご自身の絵本への並々ならぬ情熱と愛情を感じ、終始圧倒されました。絵本を読み聞かせていただき、普段自分がいかに文字ばかり追いかけているかに気づきました。純粋な心持ちだけで絵を眺め、のぶみ先生の情感豊かな声色に身を任せ、のぶみ先生ワールドに浸れた贅沢な時間でした。人気作家先生直々に親子ともに読み聞かせていただけるのは、この先あるかないか。貴重な機会に巡り会えた喜びとのぶみ先生の益々のご活躍をお祈りする気持ちで帰路につき、翌々日の情熱大陸の放送を近い気持ちで拝見しました。年長の息子は早速サンタパスポートのシール集めに励んでいます。

もみじ赤 藤澤 麻衣

ご結婚の話、絵本を描きはじめてきっかけの話など、テレビで観たことがあってもぐいぐい引き込まれてしまい、お母さんの話では涙が出てきました。私も長女だったので“良い子”というフィルターで見られていたからです。一度悪いことをしたのを母に目撃され、何も言わず泣きながら母が立ち去りました。それ以降、いい子フィルターを取って、母娘の距離が近くなりました。のぶみ先生はずっとずっとそのままだったのかと思うと涙が出ました。娘も息子も大好きな絵本ばかりで、私自身も何度読んでも飽きない、毎回発見がある絵本ばかりです。あの話が映画になったら…バスタオルを持って観に行きます。

もみじ赤 長嶋 紘寿

『しんかんくん』の人が来るんだ♪と息子も楽しみにしていた講演会は、たくさんの元気と笑顔をもたらえる楽しい時間でした。三兄弟の似顔絵入りのサイン絵本に、息子たちは喜んでいました。中1、小5の息子に『いのちのはな』を読んでみるよう勧めると、今さら絵本!?といった反応でしたが、その後も何度か手に取り、読み返していました。三男に読み聞かせをしてあげたりもしていました。そしてその三男坊は、クリスマスに向け『サンタパスポート』をはじめました。

つくし赤 井ノ口 志津

のぶみ先生の描く絵本は、とても色彩が柔らかく、登場する人物やキャラクターも可愛いものが多いですが、それらが伝えようとしているメッセージは、実はすごく意味深いものだということが、今回、のぶみ先生の読み聞かせを生で聞かせていただき、わかりました。先生自身、辛い子供時代があり、死に直面しながらも、それらを乗り越え、素敵な奥様との出会いがあり、今がある。そんな先生だからこそ、ユーモアの中にも、しっかりと芯のある作品が描けるのだらうと思いました。これからも、のぶみ先生の素晴らしい作品に、親子で触れながら、芯の部分を感じて行けたら良いなと思います。貴重な講演をありがとうございました。

つくし赤 沼尻 紀子

こどもたちにとっても人気のシリーズ絵本や話題の絵本の作家であるのぶみ先生のお話を聞けるのを楽しみにしていました。他にも数々の身近な作品が先生の作品であることを知り、嬉しくなりました。今朝も娘と、おてて絵本の絵を見ながら、のぶみ先生が描いてるんだねー！可愛いねー！と盛り上がりました。これまでの講演会と全く違ったスタイルに最初から最後までドキドキワクワクでした。こどもへの読み聞かせ方がとても勉強になりました。読み聞かせをしてくださりながら涙される姿に、一つ一つの作品に対する思いの深さ、愛を感じました。絵本に込められたメッセージをこどもたちに大切に受け止めて欲しいなと思います。最後まで手を休めることなく一人一人に丁寧にサインと似顔絵を描いて下さってとても温かい方だなと思いました。出会う人みんなに優しくできること、感謝することを常に大切にされているからこそ、優しい絵の素敵な絵本ができるのだなと感じました。笑って泣いて…とても素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

つくし白 岩瀬 菜穂美

数か月前、本屋で娘にせがまれ手に取った「ママがおぼけになっちゃった」。TVでやっていたなと軽く読み始めたら、まさかの号泣。当日、ニヤハハと明るく笑い、歯に衣着せずズケズケと、出しおしみなく全てを話すのぶみワールドにひきこまれていきました。そして沢山の読み聞かせ。文字を追わず、絵に集中して話を聞くというのはこんなに楽しく、イメージをふくらませられるんだと、改めて、絵本を子供と読む事の大切さを感じました。笑って泣いて、子供達とはしゃいで。とても楽しい時間でした。似顔絵のサインも宝物です。

つくし白 村上 美夏

のぶみ先生独特の、心のこもった読み聞かせだけでなく、お人柄や熱い思いにも魅了された講演会でした。過去に様々な経験をし、それらを乗り越えてきた強さ、辛さ、優しさがあるからこそ、私達の心に響き、温かい気持ちにさせてくれる絵本を生み出すことができるのだと思いました。読み聞かせをして下さる時の、のぶみ先生の涙がとても印象的でした。

つくし白 渡辺 理香

泣いて笑って、また泣いて、あっという間の2時間半でした。先生ご自身の経験からくるお話は、どれも重みと説得力がありましたが、そのなかでも特に印象に残っている言葉は「良い子に育てようとしてはダメ」でした。日常生活でつい、あれしちゃダメ、これしちゃダメ、何でいい子に出来ないの！などと言ってしまうのですが、子供の良い面も悪い面も受け止めて、ちゃんと安心できる場所となる事。それが母親の役目なのだと改めて気付かされました。

自分の似顔絵と名前が書かれた本は、子供にとって特別な一冊となり毎日声に出して読んでいます。

長い時間をかけて一人一人と向き合い、会話しながら丁寧にサインを書いて下さる先生のお人柄が大人も子供も魅了する絵本を生み出しているんだと改めて思いました。

先生の絵本は、読むと私自身が泣いてしまうので、読み聞かせ難しいなあ、どうしよう…

とっていたら子供に「ママわたしが読んであげる」と言われてしまいました。

私も泣くのをこらえて、子供に読んであげられるように頑張ります。

つくし白 横山 礼

のぶみ先生の絵本の中は悲しかったり、つらかったり、大変だったり、人生の山と谷がえがかれていますが最終的には親も子ども笑顔になる内容なので子どもにもっと読んであげようと思いました。絵本というツールを使って子どもたちともしっかりコミュニケーションを深いものにしたいです。

あやめ赤 植竹 愛

講演会という、いつも私はなんだか緊張してしまいます。講演会開始直後、先生の明るい笑い声で一気に緊張が消え去りました。いつも死とそばにいた幼少期、辛い小学校生活、そこから強くなりすぎてしまった？高校生時代。いろいろな経験をされた先生だからこそこの絵本。笑って泣いて、笑って泣いて…最後に笑う、の繰り返しでした。息子は家に帰ってから、少しの休憩もくれずに、サインをいただいた絵本を読んでくれとせがんできました。いつもは他のことで気をそらすことができるのですが、とてとても無理でした。さらに、読んだ後はお手伝い大好き少年に変身！夕飯のお手伝いをしてくれたのですが、その日は肉団子スープ一品の夕飯となりました。ヒーローになるために頑張っています。また、その直後にお手洗いにいき、出たものがしゃべらないことを怒っていました！モンスターをやっつける方法を何度も繰り返し、大声を出すのはまた明日に…、とお願ひすることになりました。きっとお友達のご家庭でも同じようなことが起きているのではないだろうかと思ひ、思わずニヤニヤしてしまいました。親子で共有できる、楽しい講演会をありがとうございました。

あやめ白 林 晶子

のぶみ先生の作品はテーマがわかりやすく、絵がかわいいのとユーモアでストレートに感じる事ができ、素直に共感できると思ひました。娘は三女で、親の私は俗にいう“ベテランママ”の域に入っているようですが、子育ての悩みは尽きません。同じ環境で育てているのに、上2人と同じようにならず、夜泣きに関しては、なおらないんじゃないかと本気で思ってしまった。最近も、「幼稚園に行きたくない」と言われ悩みました。絵本のように素直に理由を表現してくれれば良いのですが、理由は言わない、自分の子だけわからない、家ではケロッとしている、普段ママにべったりならわかるがそうでもない、単なるわがままか、先生に裏の顔があつて本当は怖いのか、母子分離ができていないのは、愛情不足ではと教育評論家の〇〇ママに言われてしまうかしらと色々なことが頭をよぎります。ベテランママ域を試されているようですが、答えは見つかりません。親といつても仙人でもないし、自信もありません。しかし、子供への愛は自信を持ってあります。「愛があれば、大丈夫」と今回ののぶみ先生の公演で後押しされた気がします。また、登園拒否に関しては、先生方が大丈夫ですよと言つてくださつたり、周りのお母さま方が心配してくださつたりと、この子への愛情は皆からももらっているのだと気づかされました。講演でもでた「互いに愛し合いなさい」の言葉の通り、愛することは難しくないのかもしれない。ちょっとした行動で相手を幸せにできるのだと改めて感じました。ママ友の話の中で、「息子が東大を狙つて頑張っているが、そんな頭がいいとは思えないからやめさせたい」「進学校に通っている息子が大学に行かず、アニメの専門学校へ行くと言つていて、家族で落胆している」というものを聞きました。私の母に至つては、「孫が勉強しないのは、義理の息子の遺伝のせいだ」なんて本気で言っています。傍から見ると親は滑稽に見えるときもありますが、皆一生懸命子供を想っています。私は娘に呑気と言われますが、真面目に悩みながら子育てをしています。報われない時（先のアニメの専門学校のお母さまは、何のためにいままでお金をかけたのよ、と愚痴っていました。）もあるかもしれませんが、自分の愛を信じ育てていこうと思ひました。笑つたり泣いたり、素敵な講演会をありがとうございました。

あやめ白 森本 やよい

「ほんでさあお母さん達、子供の良いところも悪いところも好きになつてあげてね！」と私達に親しみを込めてお話ししてくださつたのぶみ先生。笑つて泣いて、あつという間の楽しい2時間でした。今までの壮絶な人生を受け入れ、過去の自分としっかり向き合うのはとても勇気のいる事だと思ひます。「互いに愛し合うこと」聖書にも書かれているように、全ての子供達にも愛されて欲しい！と思ひのぶみ先生のメッセージが絵本からも伝わってきました。のぶみ先生からたくさんパワーをいただきました。

きく・チューリップ 常盤佐知子

のぶみ先生の絵本から想像していた、勝手な人物像や話し方の雰囲気と違って、初めはビックリしましたが、色々な苦労があり、それを乗り越えて今のご活躍に繋がっている事が分かり、笑って・泣いて、久しぶりに楽しい講演会に参加させて頂きました。ありがとうございます。子どもだけでなく、大人にとっても生き辛い世の中ですが、「いのちのはな」のプーのようにあきらめない心で、自分の壁を乗り越える力を身に付けたいと思いました。サイン会では、娘の顔をスラスラと描いて頂き、本当に感激しました。

チューリップ 北迫 真弥

母親は子どもにとって安全基地、安全地帯であるということを改めて実感させられた講演会でした。ユーモラスな世界観の中につめこまれた”愛”をずいぶん大きくなってしまった我が子たちにも読み聞かせてあげたい気持ちになりました。ありがとうございます。

チューリップ 福馬 麻子

のぶみ先生は絵本やテレビで可愛い作品を目にする機会が多く、講演会を楽しみにしていました。先生の意外な前歴や辛かったこと、そしてそれをカラッと笑ってお話しになる現在…、母親としての立場から見れば胸が痛む思いもありましたが、声音を変えて自作をたくさん音読してくだり、向かいあった相手を喜ばせたいという強い思いを感じ、先生の体現している愛情の大きさに感嘆の思いでした。作品に込められた、他者を愛するということと自分を変えるのは自分ということ、子どもと一緒に絵本を読む大人の胸にも響く大切なことを教えて下さいました。またいつも講演会のたびに「ありのままを愛して受け入れる」という、テーマを感じることができます。幼稚園に感謝を申し上げます。

ふじ・ひまわり組 小島 淳子

図書館の絵本を6000冊すべて読んだり、一冊の絵本を出すまでに1000回読み聞かせをしたり、有名な作家さんに会いにいたり…強い意志と情熱、そして行動力をもったのぶみ先生。その才能を引き出した奥さまの力もまたすごいです。人と人との関係には悲しいことや辛いこともあるけれど、希望に向かう素晴らしいエネルギーもまた人との関係で生まれるのですね。これからも、出会いを大切に生きていきたいと思いました。

天野 敏枝

のぶみ先生の生命を込めた絵本の読み聞かせ、そして「絵本に込めた思い」に触れられ至福の時間を過ごせました。ご自身の過去の全てを受け入れてどんな自分にもOKをだし愛の中で今を生きているのぶみさんの在り方が、のぶみ先生の絵本の在り方として堂々と輝いておりました。私もそのような在り方でありたいと思っておりますので、今回感じた事を、子どもに愛を感じてもらおうツールとしてこれからも絵本を生活の中に取り入れていこうと思います。貴重なご縁を賜りましたこと心より感謝申し上げます。



求めないで与えて与えて
その与えるのが自分の楽しみになるように…
求めているうちはうまくいかないよ。
愛されたい、みつめられたいじゃなく、
みんなになにができるかだよ。
そして、愛された時にちゃんとうけとること。
互いに愛し合うこと
それが世界で一番大切なこと。

のぶみ学より